

# 牧羊ひろば



長崎めぐみ教会 教会学校

## ●はじめに

長崎めぐみ教会は、一九八六年四月21日の教会創立時から今まで遣わされました先生方を通して福音の種が子どもたちにまかれてきました。特にコロナ禍でも平日に宿題会や英会話教室、子どもクリスマス会が行われ、近所の子どものとの交わりを通して福音が継続して伝えられ、教会の存在が身近になっておりました。

## ●主日のCSの内容と年間行事

二〇二一年4月、私共が着任後少しして、牧師子弟2名で教会学校が再開されました。日曜日朝の九時半から1時間ほど、主に牧師夫人が導

きます。教会学校のプログラムは、①挨拶、②簡単な交わりの時間（紙芝居やゲーム、プレゼント作りなど）、③お祈り、④賛美、⑤主の祈り、⑥賛美、⑦聖書朗読（輪読の時もあり）、⑧み言葉暗唱、⑨フラッシュカードを使

いながらメッセージ、⑩クイズ（今日のお話の復習をかねて）、⑪み言葉暗唱、⑫賛美、⑬お祈り、⑭お知らせ、ですが、臨機応変に短縮する時もあります。教会行事に合流する事もあります。年に何回かは合同礼拝をします。

一年の年間行事としては、4月にCS進級式が

あり、礼拝の中で牧師が祝福の祈りを捧げ、子どもたちにプレゼントを渡します。教会の皆さんと一緒に子どもたちの成長を喜びました。5月は母の日記念プレゼント作りをしました。去年はクリアファイルにステンドグラス風シールを貼った物を、今年はフェルトのカーネーションと押し花の葉をプレゼントしました。6月は花の日に教会の玄関や壁に、子ども達が折り紙で作ったお花を飾りつけて華やかにしました。季節ごとに掲示板や壁



主日の教会学校風景



母の日記念プレゼント

を子どもたちと飾りました。父の日記念プレゼント作りでは、昨年はフェイクレザラーの葉をつくり、今年は粘土で丸く土台をつくってタイルやビーズで飾り付けたペーパーウェイトを作りました。今年の九月には敬老感謝記念プレゼントとして、牛乳パックで壁掛けの小物入れを作り、中に貝殻を入れてプレゼントしました。

11月には合同礼拝の中で子ども祝福式の時があり、プレゼントを渡します。12月は子どもクリスマス会。二〇二〇年には野外駐車場にてサンタさんによる腹話術、プレゼント渡しが行われ、20名の子どもが参加されたこの事です。

その時々によってプログラムや行事に変動や課題はあ



こども祝福式



2020年のこどもクリスマス会の様子

りますが、子ども達への救霊の働きを継続できますようにと祈りつつ、子ども達の御霊の実の結実のため、できる事を、喜んで子ども達と行なって行けたらと思います。続いて覚えてお祈りいただけましたら幸いです。

(後藤栄子)

## ●二〇二二年のクリスマス関連行事

二〇二一年のクリスマス礼拝後の祝会では、コロナ対策の為、愛餐はせず、お菓子と文具の詰め合わせを小袋に入れて教会から子どもを含めた皆さんにプレゼントしました。これとは別に、礼拝後、残られる方で教会からのプレゼントをくじ引きしました。子ども達も楽しんでいました。

二〇二一年の子どもクリスマス会は、12月24日の午後、コロナ対策として、会堂駐車場にて30分以内で企画しました。その直前の数日間、私は子どもたちを迎える準備で手一杯だったため、栄子師とCS生徒とが近隣の帰宅途中の小学校の子ども達に約70枚程案内を配りました。配布枚数は少なかったものの、神様が憐れんで子ども達をお送り下さって、子どもが17名も参加しました。当日は大分福音キリスト教会YouTube 配信中の子ども達の賛美「クリスマスおめでとう」等を駐車場で流しながら子どもたちを迎えました。早くから来てくれた子たち向けに、待ち時間に栄子師がクリスマスの紙芝居をしたり、ゲームをしたりしました。しかし寒い上、小雨も降ってきたので風邪をひかせてはいけませんので、急遽

計画を変更し、換気をしながら、マスクをしていない子にはマスクを渡して、密を避けながら、会堂で待つてもらいました。雨は止まず、子どもたちはどんどん集まってきましたので、コロナ感染防止のため仕方なく計画変更。会堂内でいきなりサンタさんによるプレゼント（お菓子と文具とクリスマスストラクト）が渡された後、すぐ解散としました（クリスマスストラクトを読んで福音を信じてほしいと願いつつ）。クリスマス会直後、ご近所のご婦人が「孫がお世話になりました」とみかんとお芋等をたくさん下さいました。お正月には別のご近所のご夫妻が「息子が喜んでいました、ありがとうございます、今年もよろしくお願い致します」と教会そばの道端で向こう様からお声をかけて下さり感謝でした。

同日24日の夜7時から、コロナ対策をしつつ、キャンドルサービスを1時間程お捧げしました。その礼拝に、メソジストの流れにあるミッションスクール、活水学院の学生さんが二〇二〇年のキャンドルサービスにて、ろうそくの明かりの雰囲気良かった事もあり（ベラカ12月号のお証参照、夜にもかかわらず、二名も出席されました。この年も喜んで下さった様子で感謝でし

た。活水学院から地域のプロテスタント教会の礼拝を訪問する事を奨励されているのですが、その事も主がお用い下さり、中高生が礼拝に導かれて来る事は小さな群れにとって励ましであり喜びです。最近、活水学院の指定する礼拝訪問日以外でも、ほぼ毎聖日、礼拝出席される高校生が起こされ感謝です。さらに近隣地域のプロテ



2021年キャンドルサービスの様子（学生は写っていません）

スタント教会の牧師という事もあって、私のような小さい者にも、時に活水学院や長崎外国語大学からチャペル（礼拝）の御用にお招きがあり、大勢の中高大学生たちにメッセージをする機会が与えられました。主の憐みと先輩クリスチャン達の主にある宣教の結実に畏れおののいております。

余談で私事ではありますが、最近、私（後藤健一）は小学校のPTAの関係で見守り隊に入りました。子ども達の登下校を見守る中で、先のクリスマス会に来てくれた子ども達の姿も見えます。見守り、挨拶していると親しみが増します。主イエス様は人間を救うために人間となつてこの世界に来て、人間を愛し仕えて下さった事を思う時、子ども達の救いを求める心で子ども達を見守る事で子どもや地域の方々にお仕える事は、決してやさしい事ではないと確信できるようになりました。

この長崎の地からも、さらに救われる子どもたちが起こされ、キリストの弟子が起こされますように、続いて皆さまのお祈りのご支援をどうぞよろしくお願い致します。

（後藤健一）